

大の里 大関へ



大相撲秋場所14日目、豊昇龍（左）を押し出しで破る大の里。2場所ぶり2度目の優勝を決めた＝21日、東京・両国国技館

2度目の優勝飾る

海洋高出、3場所34勝

大相撲秋場所14日目は21日、東京都墨田区の両国国技館で行われ、西関脇大の里(24)＝本名中村泰輝、海洋高出・石川県出身、二所ノ関部屋＝が大関豊昇龍を破り、13勝1敗で2場所ぶり2度目の優勝を決めた。大関昇進も事実上決定し「思い切ってやるだけだった。最後は気持ち良かった」と話した。

大の里は直近3場所合計34勝とし、大関昇進の目安とされる33勝を上回った。昇進問題を預かる日本相撲協会審判部は千秋楽の22日に臨時会議を開いて協議する。

今場所は攻撃的な取り口が光り、初日から11連勝と賜杯レースを引っ張った。幕下10枚目格付け出しでの初土俵から所要9場所で大関に昇進すれば、昭和以降で最速記録となる。

大の里は石川県津幡町出身。相撲に集中できる環境を求めて能生中(糸魚川市)に進学。その後、海洋高に進んだ。海洋高1年時に全国高校総体の個人で準優勝。日体大に進み、全日本選手権を連覇した。国体では本県成年チームとして2大会連続で団体、個人2冠を達成した。